

ゴミ処理は「広域化」を推進 環境省は300ト/日以上求める

鶴岡市が合併特例債活用の期限となる平成32年度までに、新たな

ゴミ処理施設を建設する方針に関連し、三川町からの委託を拒否する問題が波紋を広げています。

ゴミ処理業務について、鶴岡市は市町村合併を持ち出して、「三川町が自立したなら自前でやれ」「できなければ鶴岡市に合併しろ」などと不安を与え、行政としては異常な事態です。

ゴミ処理を市町村が共同処理しているのは全国で575件1671団体（1718市町村の97%）と、ほとんどがゴミ処理を共同でおこなっており、三川町に単独でやれというには無理があります。

環境省では、ダイオキシン対策やコスト削減を理由にゴミ処理の「広域化」を進め、「可能な限り焼却能力を300ト/日以上、最低でも100ト/日の全連続式ごみ焼却施設」を求めています（左・通達）。

平成25年度のゴミ処理量は鶴岡市が約4万7千ト、三川町が約3千ト（6・4%）で、合計約5万ト、1日当たり約137トで環境省の目標300ト以上の半分以下です。

三川町単独では日量8トですから、もともと単独での施設建設は「お話にならない」ということです。

資料：総務省「地方公共団体間の事務の共同処理の状況調」（平成26年7月1日現在）から

第3表 事務の種類別共同処理の状況

ゴミ処理は全国1718市町村の97%の1671団体で共同処理

共同処理方法	1 協議会		2 機関等の共 設置		3 事務の委託		4 一部事務組合		5 広域連合		6 地方開発事業団		7 1～6の合計	
	設置数	処 理 団体数	設置数	処 理 団体数	件数	処 理 団体数	設置数	処 理 団体数	設置数	処 理 団体数	設置数	処 理 団体数	設置数	処 理 団体数
(3)ごみ処理	2	5	-	-	149	149	399	1,376	25	141	-	-	575	1,671

環境省「ごみ処理の広域化計画について」

公布日：平成9年5月28日 衛環173号

1 広域化の必要性

ごみの排出量の増大等に伴う最終処分場の確保難、リサイクルの必要性の高まり、ダイオキシン対策等の高度な環境保全対策の必要性等、適正なごみ処理を推進するに当たっての課題に対応するため、今後、ごみ処理の広域化が必要である。このため、次の事項を十分踏まえたうえで広域化計画を策定されたいこと。

- (1) ダイオキシン削減対策 (略)
- (2) 焼却残渣の高度処理対策 (略)
- (3) マテリアルリサイクルの推進 (略)
- (4) サーマルリサイクルの推進

ごみ焼却施設を全連続式とすることにより、ごみ発電等の余熱利用を効率的に実施することができる。これによってエネルギー利用の合理化を図るとともに、地球温暖化の防止にも資することができる。なお、サーマルリサイクル推進の観点からは、**ごみ焼却施設は、焼却能力300t/日以上とすることが望ましい。**

- (5) 最終処分場の確保対策 (略)
- (6) 公共事業のコスト縮減

… 高度な処理が可能で小規模なごみ焼却施設等を個別に整備すると多額の費用が必要となることから、**可能な限りごみ処理施設を集約化し、広域的に処理することにより、公共事業のコスト縮減を図る必要がある。**

2 広域化計画の内容

… 地理的条件、社会的条件を勘案しつつ、可能な限り**焼却能力300t/日以上(最低でも100t/日以上)の全連続式ごみ焼却施設**を設置できるよう、市町村を広域ブロック化すること。… 以下略 (文字修飾は編集部)

私の昭和

鈴木重雄（88歳・八色木）

16

トドマ（用務員）の大きな鍋がぐつぐつ煮立っているのでこんなご飯を食べたいと思っ

たものです。トドマは、学校の畑で野菜をつくり給食に使ったり、学校前の小川からメダカを採って、油でいためたメダカ味噌は脂がのって美味しかったと、当時勤務した山本英夫先生が言っていた。

授業時間の知らせは、トドマが鈴を振って知らせるのであるが、忙しさにまぎれ忘れて先生が振ることもある。畑に出るときは、「小使畑」と黒板に書いて出る。雑用を一人でこなす働き者である。おしっこを漏らす子ども始末や、藁草履を作り裸足の子どもに与えたり、下駄や草履の鼻緒の補強してくれる本当に優しい人であった。

同級生のケンサク君と泊まったことがある。小使室の大きな囲炉裏に炭燃やし、掃除用の湯を沸かしたり、宿直の先生のご飯や弁当の持っていない子どもの弁当をつくっていた。弁当の持つてこない子は登校すると空弁当を小使室に置く。トドマは

ご飯を詰め、梅干しを真ん中に入れて日の丸弁当を作ってくれる。

思いを持ってこの10年間過ごしてきた（昨年6月議会・今野良和議員の一般質問答弁）榎

本市長の姿勢が根本問題です。

藤島こーぷ・医療生協共催 で「新春交流会」

藤島こーぷ委員会・庄内医療生協藤島支部の共催で「新春交流会」が26日、藤島地区活動センターで31人が参加して開催されました。メインは「マギー順司いきいきマジックショー」（写真）。庄内医療生協の顧問で豊浦支部の支部長を務めている五十嵐順一さんが約



1時間にわたって下級から上級の多彩な手品を披露。トークも面白く笑いが絶えない盛り上がりでした。

「鶴岡生協60年の歩み」が上映され、鶴岡灯油裁判などの歴史を感銘深く学びました。齋藤留治さん(新町)が「戦争法(安保法制)廃止を求める2千万人署名」を呼びかけまし



た。

鶴岡生協の「夕食宅配事業」が25日から藤島地域にも拡大され、松田爵さん(駒前)が説明しました(写真左上)。ゲームでは佐藤清一さん(新町)が優勝し大喝采を浴びました(写真右)。



懇談では石川勝雄さんが乾杯の音頭をとり、「手品ではダマされても、アベ総理にはダマされないように」などと笑いをさそい、和やかな1日となりました。



「安保関連法に反対するママの会 やまがた」

「ママ友に政治の話をするのは怖い、不安、でも…」ママの会 やまがた」菊地若奈代表

付北 22日 1面 (上) 付北 23日 1面 (下)
北海道・東北 欄

は昨年12月に結成、その報告集会が県庁で20日行われた。菊地若奈代表は胸の内を率直に話している。しんぶん赤旗22日付北海道・東北のページ欄である。

「ママ友に政治の話をするのは怖い、不安、でも…」ママの会 やまがた」菊地若奈代表の思い
記者会見での 菊地代表の思い

「ママ友に政治の話をするのは怖いです。難しいとか、嫌われたりするのではないかと不安になります。家事や育児に没頭していたほうが楽です。でも私たちは立ち上がります。シールズをはじめ多くの若者たちが自分たちの言葉で語り行動する

のを見て、希望と勇気をもたらしました。…この安保関連法を廃止するのはほかの誰でもない。自分自身の踏み出す一歩が始まりだと気がきました。

私の経験でも、社会的な活動に入る時はいろいろな躊躇(ちゅうちよ)があるもの。自分の弱い本音を語ることで、共感を生み、廃止の声を出す人が広がっているのだと思う。

さて、本紙1000号記念の集いに仙台から駆けつけてくれたN



さんは、写真のような手作りチラシを配りながら隣・近所で50人ほどの署名を頂いていると嬉しいメールを送ってくれた。



新聞を比べてみれば

3日遅れの古新聞と言う言葉があるが、そんな読売新聞が手に入った。贈り物の緩衝材として詰め込まれていたものだ。読んでビックリしたことを・・・

なのかなと思つたネ。
▲社によって得意分野や好き嫌いもあろうが、あまりにも極端じやありませんか。親分の日本共産党嫌いは聞いたことがあるが、読者に正しくものを伝えていないとなるネー。

▲今月の13日付けで前日の国会・予算委員会の模様が載っていたんだが、その取扱いが極端なことに気が付いた。というのは、日本共産党は2人・笠井さんと赤嶺さんが質問したのだが、笠井さんだけが出ていたんだ。

▲でも、丁寧なところがあつたんだ。首相の答弁のポイントと題しての宣伝だよ。さすが親分が首相と食事をしている影響だ・トネ。
▲大変いけないところも見つけたんだ。憲法改正を首相が言い出した応援に、「緊急事態条項」の説明をしているんだが、学者や評論家が心配しているところ、つまりは大事なところを隠していることだ。

▲しかし、名前と文の最後の。を数えて29という字数だぜ。比べるのが正しいかどうかはあるがサ、おおさか維新の会のは2回で、156文字だったです。
▲それではと毎日新聞を探してそれを見たら笠井さん4桁・赤嶺さん5桁で、維新は5桁だった。こっちは公平

▲この条項が憲法に入ることによって、首相に特別の権限が許されること保障された国民の権利を縛る発令が出せることを隠しているのだ。これがあれば戦争するのに楽だぜ。

(石川)



「会」結成各地で
戦争法廃止を求め、ママの会 やまがたが、山形県で結成された。ママの会 やまがたは、戦争法反対共同署名を呼びかけ、山形県内各地で結成された。ママの会 やまがたは、戦争法反対共同署名を呼びかけ、山形県内各地で結成された。

山形でママの会
山形県でママの会が結成された。ママの会 やまがたは、戦争法反対共同署名を呼びかけ、山形県内各地で結成された。

山形県でママの会
山形県でママの会が結成された。ママの会 やまがたは、戦争法反対共同署名を呼びかけ、山形県内各地で結成された。